

収益金6万円

AMDAに贈る

瀬戸内の三セク

岡山ブルーライン沿いの道の駅「黒井山グリーンパーク」などを管理・運営する第三セクター「曙の里おく」（瀬戸内市邑久町虫明）は十五日、四月中旬に同パークで行ったチャリティーイベントの収益金六万円を国際医療ボランティアAMDAに贈った。

菅波代表（右）に収益金を手渡す立岡市長



社長の立岡脩二瀬戸内市長と三宅久雄支配人が

岡山市櫛津のAMDA本部を訪れ、菅波代表に収益金を贈呈。収益金は今後の緊急医療支援のために利用されるという。

立岡市長は「道の駅でAMDAの活動を紹介するパネル展を開きたい」と言い、菅波代表は「支援を受けて助かった被災者の思いを伝える場にもしたい」と述べた。

同社は二〇〇四年春、

秋にも支援金を贈っている。（長安亜矢子）